

沼田市政がスタート

9月10日に行われた牛久市長選挙で初当選を果たした沼田和利市長が10月3日に初登庁し、市民や市職員の出迎えを受けました。また、10月10日には、市議会定例会において就任にあたっての所信表明を行い、新市政に向けての決意を語りました。その一部をご紹介します。



▲初登庁の動画はこちら



未来を見据えたまちづくり

私はこの牛久市で生まれ皆さまに育てられた私の責任として、直面する課題に向き合い、一つひとつ解決していくとともに、未来を見据えた「まちづくり」や「地域振興」、「教育改革」に若い発想と行動力で果敢にチャレンジしてまいります。

また、市議会議員や県議会議員の経験で培った政策実行力や、国や県、近隣市町村との強固なネットワークを最大限に活かし、広域的な視野でまちづくりを進めてまいります。今こそ新しい牛久市の未来を、市民の皆さま、議員の皆さまとともに一緒になって切り拓いてまいりたいと考えておりますので、今後の市政運営に對しまして、ご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

市職員の不祥事に対するお詫び

この度、市が事務局となっている事業団体の会計において、使途不明金があることが判明しました。このような不祥事を起こし、多くの市民の皆さまの信頼を裏切ることとなりましたこと深くお詫び申し上げます。今後は再発防止に万全を期するとともに、改めて、より一層職員の綱紀粛正と服務規律の確保について全職員が徹底してまいります。

～アップデート牛久!! 笑顔あふれる未来へ～

去る9月10日に執行されました牛久市長選挙におきまして、大変多くの市民の皆さまから温かいご支援・ご信任を賜り、今後4年間の牛久市政をお預かりさせていただきますこととなりました。心より感謝を申し上げますとともに、身に余る光栄であり、改めてその責任の重さに身の引き締まる思いであります。さまざまな課題に果敢に挑み、市民の皆さまとともに新しい時代を切り拓く決意をもって市政運営に邁進してまいります。

8つのゼロを最優先に

選挙戦でも首尾一貫し訴えてまいりました、「アップデート牛久!! 笑顔あふれる未来へ」をスローガンとして、少子高齢化や人口減少への対応、物価高騰による厳しい環境にある市民生活からの脱却など、市民の皆さまが安全と安心、幸せを実感でき、より豊かに暮らせる牛久市を築いてまいります。そして、「子どもの医療費、教育格差、小中学校の

給食費、市役所窓口の待ち時間、災害時の逃げ遅れ、交通弱者移動困難者、介護待機者、牛久シャトーやエスカドビルの空きテナント」の「8つのゼロ」に最優先で取り組むとともに、「子ども・子育て、医療・福祉、まちづくり、地域振興、教育改革、行財政改革」の6つの分野に掲げた基本政策を着実に実行してまいります。

強みや特徴を活かしたまちづくり

牛久市の地理的な優位性や交通環境の利便性、豊かな自然環境、そして牛久シャトーや牛久大仏などの観光資源といった本市の強みや特徴を最大限に活かしたまちづくりを進めます。人口減少社会や東京一極集中の状況を乗り越え、地域間競争に勝ち抜いていくためには、交流人口や関係人口の拡大が必要となります。その拠点となるのは、牛久シャトーや牛久大仏であります。特に、牛久シャトーは、その魅力をしつかりと活用することができ

れば、本市の発展を大きく後押しすることは間違いありません。

シャトー運営の発展的な見直し

牛久シャトーを「市外からの人呼び込む拠点」として、「公園のように牛久市民が憩える拠点」として、そして「牛久市を全国に発信する広告塔」として、牛久シャトーの価値を存分に活用し、さらに牛久駅周辺の事業者とも連携を進めることで、駅周辺の活性化、そして牛久市全体の発展のために取り組みを進めていくことが持続可能な牛久市につながるものと考えております。

そして、私のトップセールスをはじめ定期的なイベントの開催など積極的な行動を起こすことで、牛久市の魅力が多くの方々へ届くこととなります。今後、具体的にさまざまな施策に取り組み、市民の皆さま、牛久シャトーを訪れる皆さまのご期待に添える形で牛久シャトー運営の発展的な見直しを進めてまいります。